

大学が示す教育成果の社会的評価

1. 目的と概要

2020年に中央教育審議会大学分科会が出した「教学マネジメント指針」には、「卒業生に対する評価」や「卒業生からの評価」といった言葉が登場します。それらは、各大学が収集する情報の例として挙げられており、教育マネジメントを確立するうえで重視されています。従来、大学で学んだ知識や身に付けた能力と就職後に求められる能力や入社後の業務との結びつきが弱いとも言われてきた我が国ですが、この「教学マネジメント指針」の例に見られるように、大学教育と社会の関係、大学の教育成果に対する社会の評価といったことがますます問われるようになってきているのが、現在の状況と言えましょう。

これまで、大学評価研究所では「達成度評価に関する調査研究」など、大学教育のもたらす成果についてたびたびアプローチしてまいりました。しかし、社会の側にいったん目を移してそこから大学教育を逆照射することは少なかったと言えます。大学の教育成果を巡って社会との関係がより問われるようになった今、大学を含めた社会全体として「大学が示す教育成果の社会的評価」に考察を加えることは大いに意義があることでしょう。

そこで今回は、当研究所紀要『大学評価研究』第21号における同趣旨の特集を踏まえ、そこにご寄稿いただいた方から2名をお招きして研究会を催します。研究発表として、社会の側、そして雇用者や卒業生からの評価を踏まえた大学の側の双方から話題提供を受け、そしてディスカッションをしていきます。この機会を通じて関係者が考えを深めていくきっかけになればと考えます。

2. 開催日時・形態・プログラム

※ 敬称略

日 時	令和4年12月20日(火) 14:00-16:00
開催形態	オンライン開催 (Zoom)
プログラム	
14:00-14:05	開会あいさつ
14:05-14:35	研究発表① 遠藤 信博 (日本電気株式会社 特別顧問)
14:35-15:05	研究発表② 細川 敏幸 (北海道大学名誉教授、元大学 IR コンソーシアム理事)
15:05-16:00	パネルディスカッション 登壇者：モデレーター：堀井 祐介 (金沢大学教学マネジメントセンター教授) パネリスト：研究発表者2名